

あんじょう 市議会だより

第1号

平成23年8月1日
(2011年)

6月定例会



補正予算5億4000万円余を議決。
一般質問では9人の議員が質問。



5月11日 第2回臨時会撮影（仮議席）

6月定例会のあらまし

平成23年第2回安城市議会定例会を6月7日から24日まで開催しました。「財安城都市農業振興協会の経営状況の報告」など11案件の報告を受け、また、提出された「平成23年度安城市一般会計補正予算」など7案件を全会一致で原案どおり可決し、同意案1件を同意しました。

9日と10日の一般質問には、9人の議員から市政の各方面にわたり質問がありました。

本会議の詳しい内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」、または8月下旬から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

目次

- 2 主な議案
- 3 議案等の審議結果
会派の構成
- 4 一般質問のあらまし
- 7 会員協議会・委員会の活動状況
特別委員会を設置
- 8 9月定例会の開催予定ほか

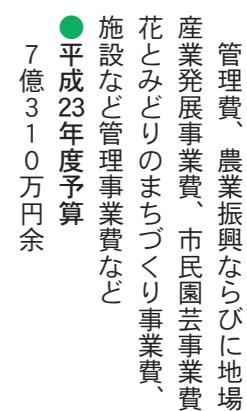
主な議案

平成23年度6月補正予算 5億4000万円余を追加

当初予算以降、新たに必要となつた事業などに一般会計で5億4000万円余、特別会計で60万円余を追加しました。歳出の主要な内容は次のとおりです。

一般会計

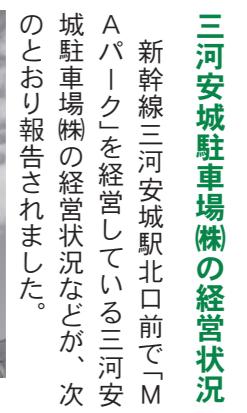
- 議会費 3800万円余増／委員会室および議員控室改修工事費など
- 総務費 1600万円余増／本庁舎補強計画作成委託料、防犯力メラ設置補助金など
- 民生費 1700万円余増／私立保育園施設整備補助金など
- 衛生費 3500万円余増／予防接種委託料、ごみ減量化推進事業費など
- 商工費 5000万円増／震災関連緊急利子補給補助金
- 土木費 2億400万円余増／桜井赤松線ほか道路用地購入費、里堀斗山14号線立体化負担金、郷東川河川用地購入費など
- 消防費 1億5500万円余増／木造住宅耐震改修費補助金など
- 教育費 2800万円余増／私立幼稚園就園奨励補助事業費、中



市土地開発公社の経営状況

市土地開発公社の平成22年度事業・決算および平成23年度事業計画などが、次のとおり報告されました。

項目	内容
● 平成22年度事業・決算の内容	市土地開発公社の平成22年度事業・決算および平成23年度事業計画などが、次のとおり報告されました。
● 取得した用地	安城南明治土地区画整理事業、二本木児童クラブ用地取得事業など10事業で、面積5460平方メートル余り
● 売却した用地	安城南明治土地区画整理事業、市道北大坪東荒子線用地取得事業など9事業で、面積1万1830平方メートル余り(安城市に売却)
● 平成22年度事業・決算の内容	安城南明治土地区画整理事業、市道北大坪東荒子線用地取得事業など9事業で、面積1万1830平方メートル余り(安城市に売却)
● 収入	平成22年度決算 指定管理料、入園料など施設利用収入、教室講座受講料など 7億560万円余り
● 支出	6億9720万円余り



一般質問のあらまし

質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載しています。



安政会
畠柳秀久議員

ごみ減量30%

問 市長3期目のマニフェストでごみ減量30%を掲げているが、どのような施策を考えているのか。また、ごみ処理有料化的見解は。

答 今後は、生ごみの自家処理が重要と考えており、生ごみ処理機モニター制度、生ごみ減量化モデル地域支援事業、ダンボールコンポスト講習会などの施策を積極的に実施する。住民説明会や集中キヤンペーンなどの啓発活動も行う。ごみ処理手数料の有料化は、処理経費負担の公平化の観点からも有効な施策だが、今の景気状況では難しいと考えている。



生ごみ処理機

市街地縁辺集落制度の導入

として、当制度を導入することへの本市の考え方。他の市の対応は、無秩序な開発を招くことが危惧され、疑問を抱いている。

答 開発が活発な地域での制度化は、無秩序な開発を招くことが危惧され、疑問を抱いている。県が県内17市に聞き取りした状況では、2市が条例制定する方針、5市が検討中、本市を含めて10市が制度導入に消極的である。



市政クラブ
野場慶徳議員

公共交通空白地域の解消

問 今本町の西部や里町の三郎地区など、あんくるバスなどの公共交通がなく、日々の買い物など、生活に不便な地域がある。公共交通を充足する考えはあるか。

答 バス停まで乗合タクシーで送迎する他市での方法が参考になる。あんくるバスのルートとダイヤ変更で可能かどうかについても、地域の意見を聞いて検討したい。

北部小学校の校舎・体育館整備

問 民間学童保育に対する施設面や職員の確保への支援の拡充と、委託料の引き上げが必要では。

答 施設や職員の確保に対する支援の方法を検討する。委託料は、運営経費を精査する中で、基準などを見直し、引き上げを検討する。

窓ガラスの飛散防止対策

問 地震による窓ガラスの飛散で子どもたちがケガをしないように、園舎・校舎の窓ガラス飛散防止対策が早急に必要である。市内の公共施設の飛散防止対策の進ちょく状況は。まだ対策が取られていなければ、今後改めて募集する。

答 社会福祉協議会で現在募集している。受け入れ体制が確認できれば、今後改めて募集する。



水と緑の会
大屋明仁議員

答 利用者の増加に施設整備が追いつかない現状では、対象学年の拡大と柔軟な受け入れは難しいと考えている。

問 民間学童保育に対する施設面や職員の確保への支援の拡充と、委託料の引き上げが必要では。

答 施設や職員の確保に対する支援の方法を検討する。委託料は、運営経費を精査する中で、基準などを見直し、引き上げを検討する。

問 被災地の復旧復興には多くのボランティアの力が必要である。また、「被災地のために何か役に立たい」という市民も大勢みえる。市民ボランティアを募集し、被災地へ派遣すべきと考えるが。

答 被災地の復旧復興には多くのボランティアの力が必要である。また、「被災地のために何か役に立たい」という市民も大勢みえる。市民ボランティアを募集し、被災地へ派遣すべきと考えるが。

問 被災地復興支援市民ボランティアの募集・派遣について



親和クラブ
永田敦史議員



被災地ボランティア

で、老朽化が進み、地域の避難場所としても早急な対応が必要である。校舎増築と体育館の建替えには2層式建築が有効と考えるが。

答 校舎増築は、今年度の実施計画で具体的な内容を検討する。体育館の改築は、早急な対応が必要と考えている。校舎と体育館の2層式建築は、工期短縮と敷地の有効活用の点で有効と考える。今後、実施計画の中で検討する。



安城北部小学校

災害発生時の応急給水

問 このほかの質問：新安城駅周辺整備、節電対策・新エネルギーなど

答 18万市民が被災時に必要とする水9日分に相当する量が確保できている。また、地域の井戸水を被災時にどのように活用を考えているのか。所が飲料水として利用できる。

問 被災時の応急給水は、どれくらいの水が確保されているのか。

答 18万市民が被災時に必要とする水9日分に相当する量が確保できている。また、災害時に井戸水を提供してもらう所有者の同意を得ておらず、そのうち29カ所が飲料水として利用できる。

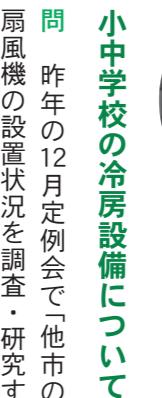
問 このほかの質問：節電対策、下水道の耐震化、今後の環境施策など



教室の扇風機（他市）

に、休日保育は、保育日の振替えを考え、無料にできないか。また、日曜日開設の児童クラブが1カ所のため、朝の送迎に時間がかかる。保育開始時間を早められないか。

答 保育園の休日保育は、利用料を徴収する現行制度により、実施対策に伴う企業の操業に対応して行う休日保育は、振替方式で実施します。休日保育を行う前1週間の平日に利用しなかつた場合は、利用料を徴収しないことにします。



飛散防止フィルム貼り付け工事

問 昨年の12月定例会で「他の市扇風機の設置状況を調査・研究する」との答弁があつたが、その検討経過は。9月には教室に設置できるよう補正予算を計上されたい。

答 扇風機を設置している近隣市の学校を訪問し、子どもたちや先生の声を聞き、効果を検証したうえで、実施計画で検討していく。

各種委員会・協議会等の公開を

問 各種の委員会や協議会が設置され、市政が進められている。市民参加を一層促進するため、会議開催の情報を公開されたい。

答 市民参加条例と規則に基づき、審議会などの会議開催情報を取りまとめ事前公表していく。

- 4月12日 経済福祉常任委員会について
街地活性化基本計画(案)について
説明を聞き、質疑をしました。
- 5月11日 新しい委員会を構成し、正副委員長の互選などをしました。
- 5月11日 総務企画常任委員会
新しい委員会所管事項の説明を聞いた後、株式会社ネットワーク(刈谷市)を巡視しました。
- 6月21日 第2回定例会で審査を託された一般会計補正予算など2議案を審査し、原案どおり可決しました。
- 6月21日 部会を開き、中心市街地活性化基本計画(案)について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月11日 新しい委員会を構成し、正副委員長の互選などをしました。
- 5月11日 市民文教常任委員会
新しい委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の安城北中学校格技棟(新田町)など5カ所を巡視しました。
- 6月17日 第2回定例会で審査を託された陳情1件と一般会計補正予算1議案を審査し、陳情は不採択とし、議案は原案どおり可決しました。
- 5月17日 委員会運営委員会
新しい委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の安城北中学校格技棟(新田町)など5カ所を巡視しました。
- 5月11日 防災対策強化特別委員会
大規模地震を想定した防災・減災対策強化について調査、研究すること。
- 5月11日 エネルギー政策特別委員会
新エネルギー等について調査、研究すること。
- 5月11日 汎岡原発は永久停止に

特別委員会を設置しました

◎=委員長 ○=副委員長

議会基本条例策定特別委員会（9人）

- 〈所管事項〉 ●議会基本条例を策定するにあたって、先進事例等を調査、研究すること。
- | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|
| ◎松浦満康 | ○竹本和彦 | 今原康徳 | 白山松美 | 近藤之雄 |
| 二村 守 | 神谷昌宏 | 近藤正俊 | 永田敦史 | |

エネルギー政策特別委員会（9人）

- 〈所管事項〉 ●新エネルギー等について調査、研究すること。
●節電等、エネルギー消費について調査、研究すること。
- | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|
| ◎野場慶徳 | ○鈴木 浩 | 太田安彦 | 石川 翼 | 辻山秀文 |
| 深津 修 | 今井隆喜 | 武田文男 | 宮川金彦 | |

防災対策強化特別委員会（9人）

- 〈所管事項〉 ●大規模地震を想定した防災・減災対策強化について調査、研究すること。
- | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|
| ◎石川 忍 | ○畔柳秀久 | 杉山 朗 | 法福洋子 | 松尾学樹 |
| 大屋明仁 | 坂部隆志 | 深谷恵子 | 神谷清隆 | |

全員協議会・委員会の活動状況

- 3月定例会閉会以降、6月定例会閉会までの全員協議会と各委員会の主な活動状況は次のとおりです。

*全員協議会

- 6月3日 (社)安城市社会福祉協議会と財安城都市農業振興協会(デンパーク)の平成22年度事業および決算報告について説明を聞き、質疑をしました。

- 5月18日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の子育て支援総合拠点施設あんぱく(大東町)など7カ所を巡視しました。

- 6月2日 部会を開き、(社)安城農業振興協会(デンパーク)の平成22年度事業および決算報告について説明を聞き、質疑をしました。

- 6月20日 第2回定例会で審査を託された一般会計補正予算など3議案を審査し、原案どおり可決しました。

- 5月16日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の中部配水場(東新町)など6カ所を巡視しました。

- 6月16日 第2回定例会で審査を託された一般会計補正予算1議案を審査し、原案どおり可決しました。

- 4月5日 第1回臨時会の議事運営について協議しました。

- 5月6日 各派代表者会議を開き、第2回臨時会の議事運営について協議しました。

- 5月11日 新しい委員会を構成し、正副委員長の互選などをしました。

- 6月1日 第2回定例会の議事運営について協議しました。

- 6月21日 第2回定例会最終日の議事運営について協議しました。



浜岡原子力発電所

都圏は混乱し、企業の生産拠点の移転という産業問題も発生し始めている。また、太陽光や風力発電は課題が多く、実用化には相当の時間を要す。脱原発宣言は、現実的な対策を考える中で、慎重に検討すべき課題だと認識している。

答 電力不足による計画停電で首都圏は生命・健康・環境を守るために、脱原発宣言をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

脱原発宣言について

震災の影響で多くの職場にしわ寄せがきている。市は、国の制度に上乗せする補助制度を創設したが、さらに周知すべきでは、市広報、ホームページのほか、折り込みチラシも検討中である。公共職業安定所でもPRしていく。

答 特別支援学級に在籍する児童生徒の数は、本年度は小中学校の合計で211名、通常学級に在籍しながら対象と思われる者は、平成21年度479名いた。体制では、対象となる児童生徒一人ひとりの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作り、適切な指導と必要な支援に努めている。今後も一層、想から具体計画にしていくのか。

答 碧海5市を中心、おおむね10年後の合併を構想し、将来の合併に向けた具体的な協議の場を現任期4年間で作っていく考えている。



安政会
今井隆喜議員

広域行政について

問 市長は3期目の選挙公約で「碧海5市合併を構想から具体計画にまで高め、現行の行政区域を超えた大きな行政改革の推進へリーダーシップを発揮します」と書いている。どのように現在の構想から具体計画にしていくのか。



日本共産党安城市議員団
宮川金彦議員

消防職員の増員を

問 衣浦東部広域連合の消防職員の充足率が国基準の61%である。これでは大きな地震が起きた場合、市民の安全は守れない。せめて、全国平均の75%まで(あと100人)増員が必要ではないか。



名鉄南安城駅

問 国の基本方針により、名鉄南安城駅がバリアフリー化の対象となる。早急に名鉄にエレベーターの設置を要請すべきではないか。

答 駅舎の構造や用地などの課題はあるが、名鉄に要請していく。

浜岡原発は永久停止に

問 浜岡原発は東海地震の震源域の真上にあり、世界一危険な原発と言われている。環境首都を目指すなら、永久停止にすべきと考えるが、見解を伺いたい。

答 今の限られた情報の中では、非常に判断が難しいと考える。



新社会
石川 翼議員

中小企業緊急雇用安定補助金のPR

答 特別支援学級に在籍する児童生徒の数は、本年度は小中学校の合計で211名、通常学級に在籍しながら対象と思われる者は、平成21年度479名いた。体制では、対象となる児童生徒一人ひとりの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作り、適切な指導と必要な支援に努めている。今後も一層、想から具体計画にしていくのか。

答 本年度に15名の定数増をし、現在市としても、適正な消防職員の配置は重要と認識している。

9月定例会の開催予定

8月24日(水)	請願・陳情提出締切り
9月2日(金)	開会
5日(月)	一般質問（午前9時）
6日(火)	一般質問（午前9時）
7日(水)	一般質問（午前9時）
8日(木)	議案質疑・決算特別委員会（午前9時）
12日(月)	建設常任委員会・決算特別委員会建設分科会
13日(火)	市民文教常任委員会・決算特別委員会市民文教分科会
14日(水)	経済福祉常任委員会・決算特別委員会経済福祉分科会
15日(木)	総務企画常任委員会・決算特別委員会総務企画分科会
21日(水)	決算特別委員会
27日(火)	閉会

開催時刻は、一般質問と議案質疑は節電のため午前9時、その他は午前10時の予定です。
決算特別委員会分科会は、いずれも各常任委員会の終了後の開催となります。

※予定は変更する場合があります。

議会を傍聴しませんか

本会議や委員会での審査の様子は、当日受付で氏名と住所を記入するだけで傍聴できます。手話通訳や要約筆記も可能です。（傍聴予定日の5日前までにお申し込みください）

なお、本会議では、FM補聴システムを導入しています。誘導コイル付き補聴器を使用している人は、聞き取りやすくなります。詳しくはお問い合わせください。

代表・一般質問の録画を視聴できます

▶ケーブルテレビで

9月5日・6日・7日の一般質問の様子が、キャッチネットワーク107チャンネルで録画放映されます。

放映日 5日収録分 → 8日(木)午後6時 ・ 6日収録分 → 9日(金)午後6時
7日収録分 → 16日(金)午後6時

▶市公式ウェブサイト「望遠郷」の「市議会のページ」で

代表・一般質問の録画映像をインターネットで配信しています（過去2年分）。

9月定例会の一般質問の様子は、一般質問終了後、おおむね2週間後から視聴できます。

市公式ウェブサイト「望遠郷」→<http://www.city.anjo.aichi.jp/>

市議会のページ→<http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/gikai/index.html>

今年度から、議会だよりをリニューアルし、「あんじょう市議会だより」として発行します。編集は、議員から選出した市議会だより編集委員会が担当します。ご意見・ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

◎ 石川 忍 ○ 坂部 隆志 太田 安彦
法福 洋子 松尾 学樹 深津 修
今井 隆喜 杉浦 秀昭 深谷 恵子
◎=委員長 ○=副委員長

【発行者】安城市議会

【編集者】市議会だより編集委員会

【あて先・お問い合わせ】

安城市議会事務局

〒446-8501 安城市桜町18番23号

Tel. 71-2252 Fax. 77-8200

Eメール giji@city.anjo.aichi.jp